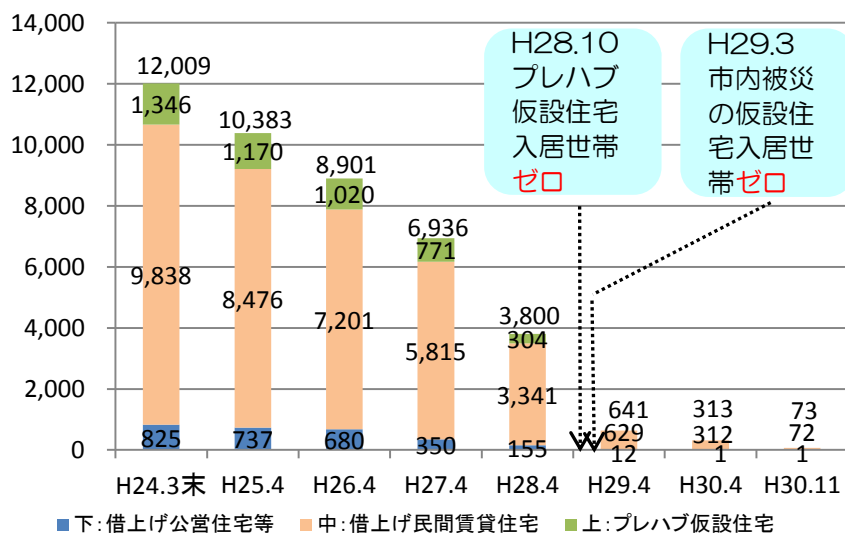




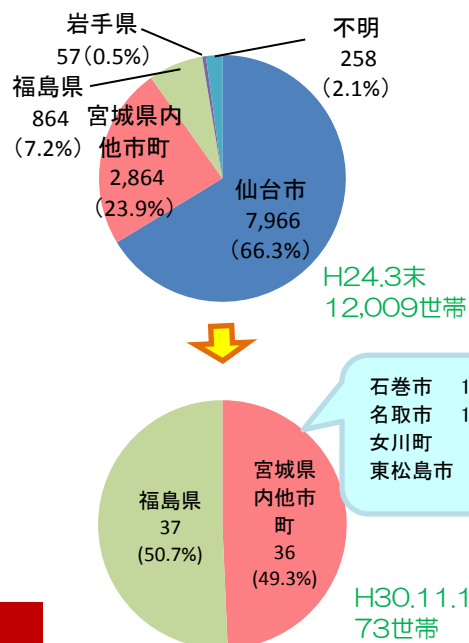
入居世帯の推移と震災時の居住地別入居状況

- 市内の仮設住宅入居世帯は73世帯となり、ピーク時（平成24年3月末）の0.6%まで減少しています。
- 市内で被災された世帯は平成29年3月末までに全て再建し、現在仮設住宅には市外で被災された世帯が入居されていますが、再建が着実に進んでおり来年4月時点の入居世帯数は約30世帯となる見通しです。
- プレハブ仮設住宅は平成29年3月末までに全て解体され、市内の仮設住宅入居世帯は全て、借上げ民間賃貸住宅等の「みなし仮設住宅」に入居されています。

入居世帯の推移



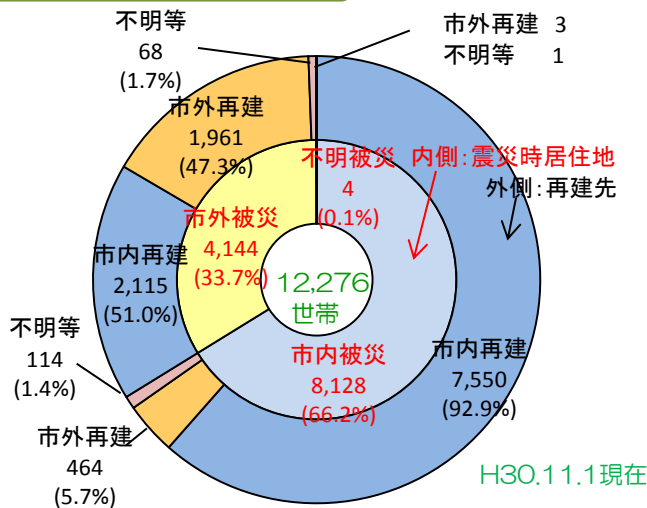
震災時の居住地別入居状況



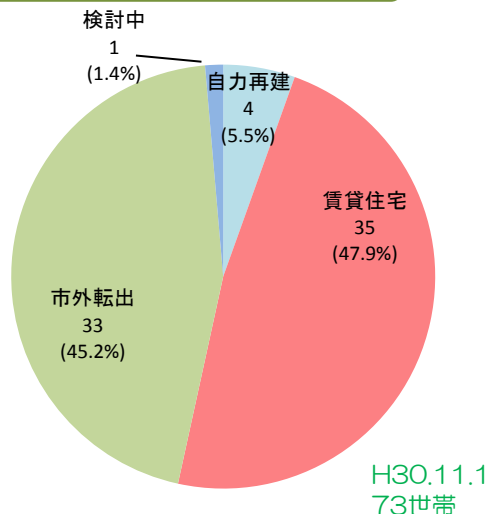
入居世帯の住まいの再建

- これまで再建された世帯のうち、約79%の世帯が仙台市内で再建されています。
- 現在仮設住宅に入居されている世帯のうち、約53%の世帯が仙台市内での再建を希望されています。
- 平成30年度末までには、特定延長及び福島県の帰還困難区域等から避難している一部の世帯を除き、ほとんどの世帯が再建される予定であり、これまで取り組んできた再建支援業務も、ひと区切りとなります。

震災時の居住地別再建状況

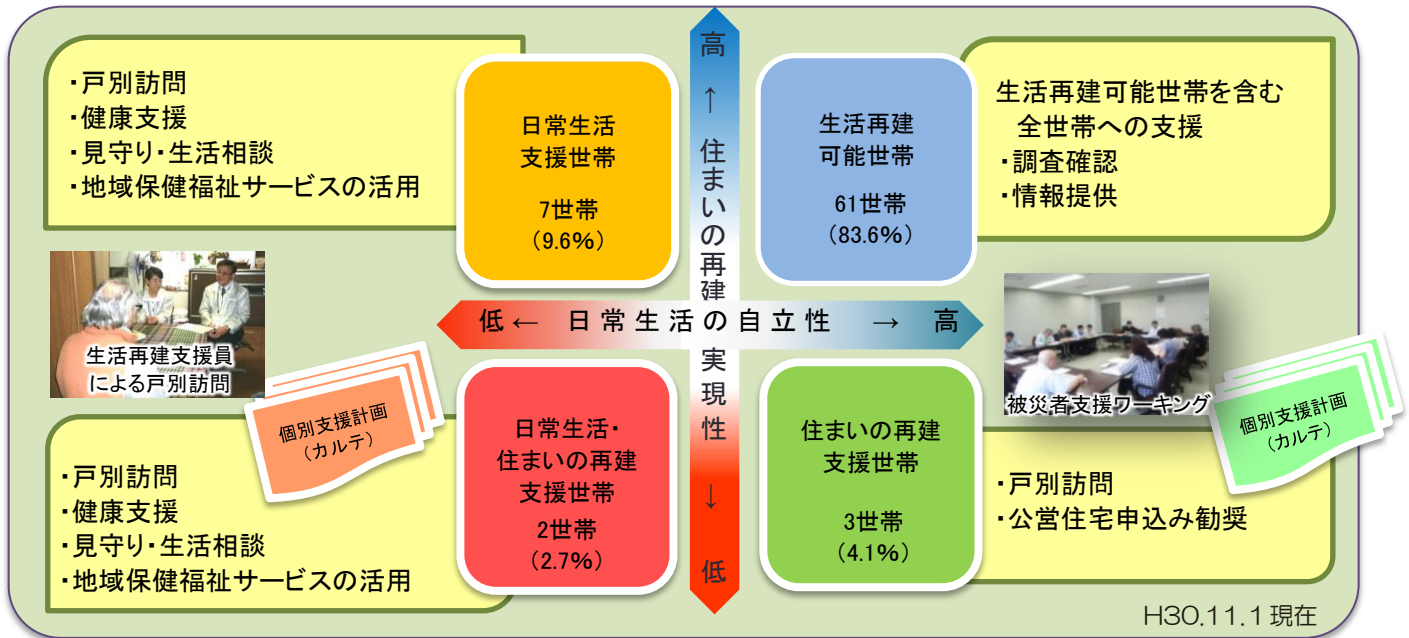


仮設住宅入居世帯の再建方針



入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、戸別訪問等を通じて課題を抱える世帯に対する移行支援に取り組んでいます。



● 六郷東部地区のまちづくりが進んでいます ●

六郷東部地区（二木、三本塚、種次、井土、藤塚地区）は、東日本大震災で大きな被害を受けましたが、現地再建した地域住民自らが主体となり、地域のにぎわいや交流の場づくり、健康づくりに取り組んでいます。

六郷東部ふるさと交流祭

10月28日（日）に、第2回六郷東部ふるさと交流祭が開催されました。このお祭りは昨年度初めて開催され、六郷東部地区の有志と地域の団体で組織された実行委員会が主催しています。今年には昨年を超える約400名の方が来場し、ステージや手作り体験、地域の食材を使ったおふるまいなどを楽しみながら、久しぶりに再会した方との会話を花を咲かせた一日となりました。



▲来場者も踊りに参加



▲手作り体験



▲オープニングを飾る「黒潮太鼓」(六郷小の児童による)

わたしのふるさとプロジェクト

「わたしのふるさとプロジェクト」は地区のにぎわい再生と住民同士の交流機会の創出をめざす市民企画会で、市民センターが協力して、様々な催しを実施しています。

冬に開かれた「鎮魂の花火」のほか、今年初めて、東六郷小学校跡地を会場に夏祭りを開催しました。



▲「鎮魂の花火」



▲夏祭りの様子

東六郷小学校跡地の整備をすすめています

東六郷小学校の跡地を地域のコミュニティ拠点として活用するため、グラウンドや多目的広場、この地域の固有種である貴重な「井土メダカ」を飼育するメダカ池などを整備する予定です。現在、地域の方々がまとめたデザイン案を基に、市が設計を行っています。



▲地域の方々まとめたデザイン案

いきいき六郷運動教室

健康づくりのため、地域住民が自主グループを立ち上げ、東六郷コミュニティ・センターで運動教室を開催しています。



▲活動の様子

この記事に関するお問い合わせ先：若林区まちづくり推進課（ふるさと支援担当） TEL.022-282-1111

次回の生活再建リポートは、**平成31年2月発行(最終号)**となります。毎月1日時点の市内の応急仮設住宅入居世帯数等の情報につきましては、引き続き市ホームページ(下記URL)により、毎月中旬頃お知らせします。

※URL:<https://www.city.sendai.jp/kenko-jigyosuishin/shise/daishinsai/fukko/sekatsu/index.html>